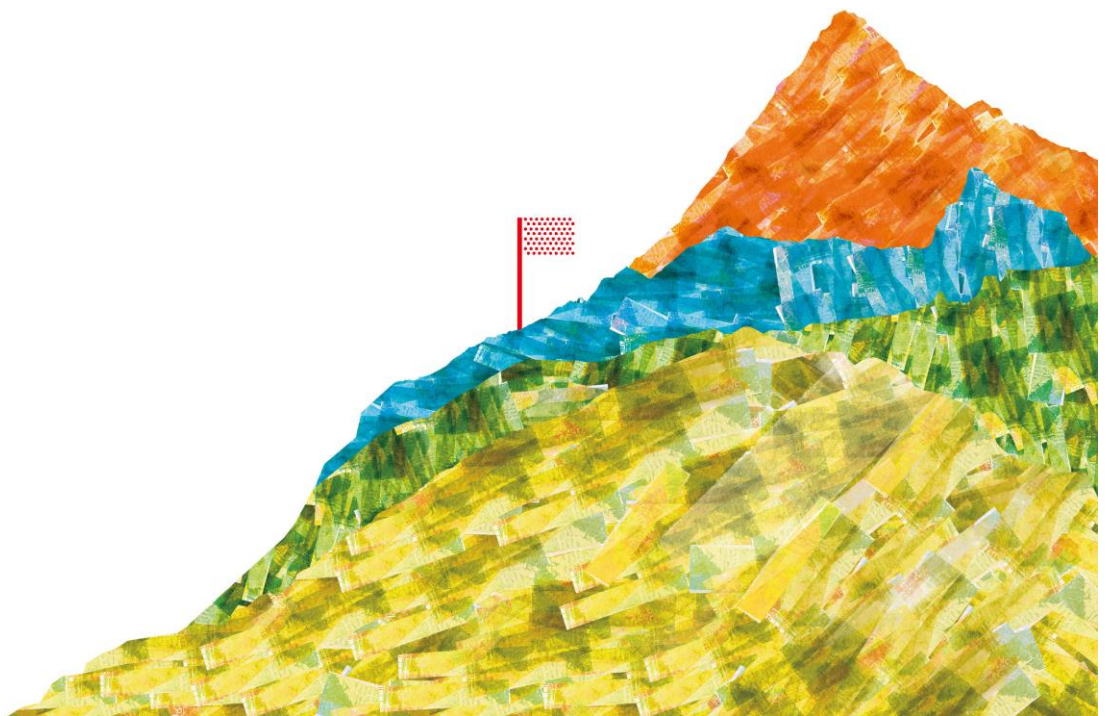


令和4年度 事業報告書

(北東京エリア)



社会福祉法人 こうほうえん

鳥取県境港市誠道町 2083 番地

令和4年度事業報告書 (北東京 エリア)

1 令和4年度総括（成果、反省等を簡単に）

- 1) うきま特養は、12月までは収益が前年度を越す状況で好調であったが、新型コロナウイルスのクラスター発生により、入院者・退居者が相次ぎ、稼働は3年度より低下し94.0%となった。また、職員によるご利用者への虐待暴力、リフト操作ミスによる介護事故が発生し、改めて危機管理体制の見直しや職員の働く環境の改善、虐待研修や介護スキルの研修体制の構築など、業務全体の改善を進めていくことが求められている。
- 2) うきまデイサービスは、この数年実施してきた営業活動が功を奏し始め、稼働が安定し微増すると共に、ご利用者の役割や楽しみのあるデイを目標に新しいサービス作りが定着してきた。
- 3) うきまショートステイは、新型コロナウイルスの影響や職員の休職・退職により、稼働率は3年度より低下し84.5%に稼働を下げた結果となり、4年度はマイナス収支となった。
- 4) ブレッド&バターは、就労継続支援A型事業の利用者であるふれんず職員が年間を通して安定して業務に従事することが出来た。また、ふれんずから一般企業への就労が2名実現し、スコア表の点数拡大に繋がった。来店者が自ら開催するワークショップやワンちゃん同伴の来店者がSNSを通じて人気を上げるとともに、病院等への外販の開拓により、3年度に引き続き収益増となった。

2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））

- 1) 法人全体として地域に対しての公益活動の推進が求められる中で、うきまでは、日常的に施設周辺の清掃活動や施設の貸し出しを実施してきたが、4年度は北区社会福祉協議会が主催する「おちゃのご祭祭」に出展。また、介護と保育の協働による月1回実施する「子ども食堂」を新設し、子どもを中心においた地域との繋がりを展開している。（うきま幸朋苑）
- 2) うきまデイサービスでは、営業活動を展開する中で、ご利用者に大人気のお風呂を充実させるため、毎月季節湯週間を設けることを発案。併せて、保育園児との交流や定期開催のイベントも充実させるとともに、新たにチラシを作成し、ケアマネジャー・ご利用者への周知、送迎車への貼り出しなど、利用者増に寄与している。（うきま幸朋苑）
- 3) 就労継続支援A型事業所の重要な役割でもある一般企業への就労を2名実現させることが出来た。（ブレッド&バター）
- 4) 新たなファンづくりを進める一環でもある来店者が自ら開催するワークショップが好評で、年間55回、延べ515人の参加があった。内容も、来店者の特技を活かした「切り絵ちよきぺた展」、「石鹸作り」、「わんことピラティス」など多様で、店内が喫茶から文化活動の場（癒しの場）に変化している。（ブレッド&バター）

3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

- 1) 新しい価値を創り安定した財務基盤を確立する
 - ・特養は目標稼働率97.5%に対し、年間平均稼働率は94.0%（前年度比△3.2P）であった。目標を下回った要因は、新型コロナウイルスのクラスター発生により、入院日数（498日）・

退居（17名）による空所日数が増加したことである。クラスターの発生前までは、平均稼働率97.2%、人件費率57.5%で維持していたが、クラスター後の稼働改善に時間を要し、3月末以降も影響が残っている。

- ・デイサービスは目標稼働率75.0%に対し、年間平均稼働率は69.8%（前年度比△1.3P）であった。特養クラスターの応援による1ヶ月の休止やコロナ等による縮小営業もあり、目標には届かなかったが、稼働率前年度比は2年連続増となった。営業活動に伴う稼働の安定・微増により、収支は黒字となる見込みである。
- ・ショートステイは目標稼働率99.5%に対し、年間平均稼働率は84.5%（前年度比△18.0P）であった。目標を下回った要因は、特養クラスターの応援による休止や縮小の繰り返しを最大に受けたことである。また、3名の給食・退職で人員不足となり、受け入れ人数の制限をせざるを得ない状況も大きく影響した。収支はマイナスの見込みである。
- ・ブレッド&バターは、店内での1日平均の売上が62,620円（前年度64,000円）余と、外販平均80,200円（59,000円）余を上回り、外販が好調であった。要因としては、コロナウイルスの落ち着きに合せて病院や製薬会社などの新たな販売地を拡充するとともに、北区役所でのマルシェ参画も効を奏した。動画インスタグラムを活用した日常的な情報提供が新規顧客を増やす効果に繋がった。収支は、昨年度に引き続き積立をする結果となった。

2) 地域に開かれた健康な組織づくりに取り組む

- ・朝礼や定例会議を通して互惠互助の読み合わせを日常的に実践し、業務に活かした。
- ・「介護のプロフェッショナルになるためのノート(人財成長ノート)」を活用し、入職者への段階に応じた業務の指導と、エルダーを通じた丁寧な研修や教え合い、注意し合う仲間意識の醸成に取り組んだ。(うきま幸朋苑)
- ・毎日の業務の中で日常的に顔を合わせたチーム・多職種ミニカンファレンスを実践し、連携・チームケアに取り組んだ。(うきま幸朋苑)
- ・職員の業務を通じた改善提案15件に基づき、職場の働きやすさ改善に取り組んだ。また、業務課題を改善する取り組みを通して、法人研究発表にして4題提出し、内1題が優秀賞を受賞した。(うきま幸朋苑)
- ・事業所の具体的なリスクや課題を弁護士から直接アドバイスいただくリスクマネジメント研修の開催。また、メンタルヘルスの専門機関である平成医会によるアサーション、職場のコミュニケーションセミナーを開催し、健康な組織づくりに取り組んだ。
- ・ふれんず職員の仕事環境を改善するため、希望を尊重した業務担当にするとともに、生活支援、区の相談センターとの連携を進め、一般企業への就労へと繋げた。(ブレッド&バター)

3) 地域における公益的取組を展開し新しいファンを拡大する

- ・介護ご利用者のご家族や地域の方を対象に、「死生観」をテーマとしてセミナーを開催した。(うきま幸朋苑)
- ・コロナの影響により実習生の受入れが厳しくなる中、介護福祉士・社会福祉士実習生、特別支援学校実習生を積極的に受け入れた。(うきま幸朋苑・ブレッド&バター)

- ・エリア内の管理者間や少数職種・事務の Zoom 会議など、エリア内のワンチーム化に取り組んだ。(うきま幸朋苑・ブレッド&バター)
- ・日常的に施設周辺の清掃活動や施設の貸し出し、4年度は北区社会福祉協議会が主催する「おちやのご祭祭」に出展。また、介護と保育の協働による月1回実施する「子ども食堂」を新設し、子どもを中心においた地域との繋がりを展開した。(うきま幸朋苑)
- ・来店者が自ら開催するワークショップが好評で、年間55回、延べ515人の参加があった。新作パンづくりも積極的に取り組み、これらの日常的なパンお得情報やワークショップ開催情報を動画インスタグラムで毎日発信し、新たなファンづくり効果に繋がった。(ブレッド&バター)

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第1位）

事業所名	定員（人）	令和4年度 （%）	令和3年度 （%）	令和2年度 （%）
うきま幸朋苑 特養	115	94.0%	報告済	報告済
デイサービス	30	69.8%	報告済	報告済
短期入所生活介護	20	84.5%	報告済	報告済

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	[4月]花見 [5月] *コロナで中止 [6月] 肉まん作り、写真撮影会 [7月]*コロナで中止 [8月] 縁日 [9月]長寿を祝う会 [10月]運動会 [11月] たこやきパーティー [12月]クリスマス会 [1月]餅つき、初詣 [2月] 節分鬼退治 [3月] 桜蒸しパン作り、花見
BCP 等訓練実施状況	・感染予防のBCP作成と見直しを実施、コロナ罹患発生時に対応を実施 ・地震及び水害に対する避難訓練を実施
エリア内研修状況	[介護] 新人研修、中途採用者研修、4,5年目研修、リーダー層研修、新卒フォローアップ研修、エルダーフォローアップ研修、アンガーマネジメント研修、アサーション研修、アンコンシャス

	<p>バイアス研修、メンタル研修、コンプライアンス研修、排泄ケア研修、食中毒研修、認知症研修、看取りケア研修、窒息防止研修、ユマニチュード研修、介護職員身体拘束適正化研修、感染症研修、介護技術研修、リフト操作、虐待研修、嘔吐物処理研修、AJCC、ユニットリーダー研修、安全衛生研修、死生観研修、労働基準研修、ICT 機器研修、安全運転研修、技能実習生日本語学習、勤怠システム研修、人事考課研修、省エネ研修、人材育成セミナー、法令遵守研修、財務諸表の見方、リフト研修、LIFE 意義と必要性研修、介護報酬研修、リハプラン研修、</p> <p>[ブレバ]</p> <p>虐待防止研修 身体拘束適正化研修 HCCAP研修 コンプライアンス研修 コミュニケーション研修</p>
<p>エリア内会議、委員会活動</p>	<p>[会議]北東京エリア調整会議、北東京エリア苦情解決第三者委員会、北東京エリア虐待防止委員会、経営企画会議、特養主任会議、ユニットリーダー会議、ユニット会議、在宅主任会議、営業会議、通所会議、給食会議、</p> <p>[部会]リスク部会、褥瘡予防対策部会、排泄部会、食事支援部会、身体拘束適正化委員会、衛生委員会、</p> <p>[ブレバ] 連絡会議 調整会議 公益事業</p>
<p>委員会活動等の成果・実績・反省</p>	<p>[ユニットリーダー会]</p> <p>・今年度からユニットリーダーが司会を担い開催する。昨年の反省点であった、全リーダーが発言できる場を作り、意見交換がなされる事により、業務改善が成されていた。責任・役割の部分での認識を来年度は高めて行く必要がある。</p> <p>[リスク部会]</p> <p>・薬に関する事故を 20 件以下(誤薬 0 件)の目標としていたが、結果は 31 件(誤薬 9 件)となる。再発防止策をたてるも振り返り・周知徹底が出来ておらず同様の事故が起きていた事が要因。また 5-1 の窒息事故、3-1 報告も昨年度より 4 件増の 12 件となり課題が残る結果となる。事故を予測する能力を高める取り組みが来年度は必要。</p> <p>[褥瘡予防対策部会]</p> <p>①褥瘡総件数を前年度 (15 件) 以下にする⇒11 件 (27%減) ②殿部の褥瘡を 7 件以下にする⇒4 件 (43%減) 年度目標達成。 6 月に発生件数多い (ムレやすい初夏) 発生者の危険因子点数 11 件中 10 件は 6 点以上 (中等度、入退院時の低下者への対応) 上記のデータを基に来年は更なる改善に向け取り組む。</p>

	<p>[排泄部会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より部会開催月が少なくなった影響で、年度目標の確認・実施を部会メンバーがしっかりできていなかった。毎日の陰部洗浄を取り組んでいたが、昨年同様数の尿路感染・膀胱炎者が出てしまった。しかし、入院に繋がったケースは少なかった為、引き続き入院させない取り組みとしてスキントラブルに着目して取り組んでいく。コロナ感染状況の事もあり研修開催が難しかった為、次年度研修などを通して排泄ケアの知識を身に付け、仕事の質を高める。 <p>[食事支援部会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LIFE の口腔ケアのフィードバックからの口腔ケアの見直しを重点項目として部会運営を図るが、各チームへの発信を含め浸透する事が出来なかった。来年度は口腔ケア支援の職員の力量の向上を取り組みとする。 <p>[身体拘束適正化委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より、障害分野と合同で委員会を開催。合同での開催年3回（4ヶ月に1回）介護分野年4回（3ヶ月に1回）令和4年度の身体拘束件数は0件。昨年同様「高齢者における身体拘束廃止」のDVD視聴。法人開催の「高齢者虐待研修」をe-ランニングを含め全員が受講する。 <p>[虐待防止委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特養での虐待案件は合計2件。入居者への暴力として発生。この件に関しては、全職員へ発信し、法人開催の「高齢者虐待研修」にe-ランニングを含めて全員が受講する。また「虐待の芽チェックリスト」を全職員へ実施。結果について集計を行い、職員へうきまの現状を発信している。来年度も引き続き「虐待の芽チェックリスト」を活用し、項目の中にある「している・ある」の平均値を15.6%⇒10%以下へ減らすべく取り組んでいく。
--	--

6 人財状況

外部研修等講師派遣実績	
外部役職就任状況	<ul style="list-style-type: none"> ・北区特別養護老人ホーム入所判定会議委員 田中理江子 ・テクノエイド協会リフトラダーテキスト改定委員会委員 持吉孝郎
外部表彰受賞状況	

7 地域貢献実績（保育所含む）

<p>実習受け入れ実績 延人数 506人</p>	<p>○介護福祉士実習Ⅰ・Ⅱ、社会福祉士実習Ⅰ・Ⅱ、看護師実習、保育実習Ⅰ・Ⅱ、施設見学実習、施設現場実習 など ・日本福祉教育専門学校・淑徳大学短期大学部・東京教育専門学校・板橋特別支援学校・東洋大学・北桜高校・彰栄専門学校・就労Bカラフルデザインワークス・東京家政大学・東京家政短期大学・筑波大付属大塚特別支援学校・帝京大学（看護）・十文字学園女子大学・東京教育専門学校・有明教育芸術短期大学・目白大学・明星大学・東京福祉大学・高崎福祉医療カレッジ・東京福祉大学・筑波大学付属大塚特別支援学校、王子特別支援学校 など</p>
<p>ボランティア受け入れ実績 延人数 62人</p>	<p>○造形指導(保育実践)、いわぶちBookswap手伝い、おとあそびコンサート・保育ボランティア・読み聞かせ・お茶出し・洗い物 など ・東京家政大学・第四岩淵小学校・洗足学園音楽大学上田ゼミ・東洋大学・東京家政大学・あそぼう会、成立学園高校、個人（岩下菜々美）</p>
<p>見学受け入れ実績 実人数 745人</p>	<p>○特養入居希望ご家族・施設見学会、デイ・ショートご利用者・ご家族・ケアマネ施設見学、入園希望者施設見学、入職希望者施設見学、職場体験 など</p>
<p>地域交流活動実績1 実施回数 22回 実人数 226人 延人数 650人</p>	<p>（事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業） ○長寿を祝う会、運動会、子育て支援事業、小学生と花壇作り交流、あそぼう会、あとリエまつり、子ども食堂、いわぶちBookswap など</p>
<p>地域交流活動実績2 実施回数 3回 実人数 10人 延人数 147人</p>	<p>（地域の交流事業に利用者と共に参加したもの） ○岩淵保育：親子サッカー・こうほうえんカップ参加 ブレバ：北マルシェ出店</p>
<p>ボランティア・環境活動参加実績1 投入実人数176人</p>	<p>（清掃活動・消防団活動・地域防災活動等） ○地域清掃活動（介護・キッズ・ブレバふれんず）、うきま子ども食堂、いわぶちBookswap（絵本交換会）、地域美化ボランティア（地藏坂下児童遊園）、近隣公園清掃活動 など</p>
<p>ボランティア・環境活動参加実績2 投入実人数 2人</p>	<p>（見守り活動・学校活動の手伝い等） ○あとリエ支援学級児童対応指導（浮間小・滝野川第2小）</p>
<p>地域発信活動実績 （介護、看護の日、イベント開催等）</p>	

<p>地域発信活動実績(認知症サポーター養成講座)</p>	<p>回数、養成者数、資格者投入人数は、必ず記入してください。</p>
<p>地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催及び参加等) 55回、延べ515人参加</p>	<p>○地域住民主催のワークショップ開催 (ブレバ) ・わんこ写真撮影ハロウィン、奇跡の一枚撮影会、メイクアップ・占い、チョーカーづくり、ビーズ刺繍、わんこしつけ教室、頭蓋骨矯正、ダーニングワークショップ、羊毛ブローチづくり、台湾切り絵、ヒーリング体験、個展・切り絵ちょきぺた展、石鹸作り、わんこピラティス、産後ピラティス、初めてのピラティス、介護予防ピラティス、ソウルカラー、就労Bカラフル絵画展覧会、キッチンソープづくり、クラウン製作と赤ちゃんの写真撮影、保冷剤で作る消臭・芳香剤、ストームグラス、ペットとの写真撮影、キッズ宿題・ワンコインプラン</p>